

外国語・英語表現Ⅰ シラバス

科目名	対象学科	学年	単位数	履修
英語表現Ⅰ	普通科	1年	2単位	必修

1.英語表現Ⅰの目標及び概要

(1)英語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

2.英語表現Ⅰの到達目標

- (1)与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。
- (2)読み手や目的に応じて、簡潔に書く。
- (3)聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。

3.成績評価の方法

- (1)定期考査 70% (中間・期末考)
- (2)小テスト 10% (確認問題・文法テスト)
- (3)授業・提出物 20% (授業参加度・発表・ワークブック・課題)

4.使用教材

- (1)教科書名: MY WAY English Expression I New Edition (三省堂)
- (2)副読本: ①MY WAY English Expression I New Edition WORKBOOK (三省堂)
②HyperListening 3rd Edition Introductory (桐原書店)
- (3)辞典: 指定なし (各個人で購入したもの)

5.授業の展開と形態

- (1)1クラスの一斉授業。

6.学習方法

- (1)授業: 教科書を中心に、重要構文・文法事項の説明を行い、音読の練習や課題文の作成を行う。
: 内容理解を深めるために、ワークブックや確認問題を解いたり、文法テストを行う。
- (2)復習: 教科書やプリント、ワークブックを見直し、学んだ事を整理する。

7.履修上の注意点

- (1)辞典を購入し、授業を受けること。

評価の観点の趣旨

1.関心・意欲・態度	2.表現の能力	3.理解の能力	4.知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	目標の文法や表現を使って、英語で話したり書いたりし、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語の学習を通して、英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。

学期	月	時数	学習項目	学習内容	重点(指導)目標	評価の観点				評価方法	
						1	2	3	4		
1 学 6	4	1	・オリエンテーション	・授業の進め方と評価方法	・授業の進め方や評価方法について理解する。	○	○	○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況	
		2	Unit1 L1 ・現在形 ・現在進行形	・スポーツ	・現在形、現在進行形を使い表現することができる。 ・自分の習慣について書いたり話したりする。	○	○	○	○	・授業での取り組み ・テーマについて書く活動	
		2	L2 ・過去形 ・過去進行形	・映画、演劇	・好きな俳優やスポーツ選手について書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	・授業での取り組み ・テーマについて書く活動	
	5	2	L3 ・未来表現will / be going to	・明日の予定、夏休みの予定	・be going to~を使い、夏休みの予定について書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	・授業での取り組み ・テーマについて書く活動	
		2	L4 ・現在完了形(完了・結果/継続)	・旅行と環境問題	・現在完了進行形を使って、以前から使っている「環境に良いもの」について書いたり話したりする。	○	○	○	○	・授業での取り組み ・テーマについて書く活動	
		2	L5 ・現在完了形(経験)/過去完了形	・アニメ、マンガ、映画	・現在完了形を使って、何度か行ったことのあるお気に入りの場所について、書いたり話したりする。	○	○	○	○	・授業での取り組み ・テーマについて書く活動	
	1 学期中間考査										
			1	・Review Exercises 1	・Lesson 1~5の復習問題	・ある一日について書いたり話したりする。	○	○	○	○	・テーマについて書く活動 ・英語の内容を理解する活動

1 学期	6	3	• Project Work A • Grammar for Communication1	• 音声案内を聞いて、内容を伝える • 過去形と現在完了形のイメージ	• 聞いた内容を基に要点をまとめることができる。 • 現在完了形を使って文を書くことができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • テーマについて書く活動	
		2	Unit2 L6 • 助動詞1 (許可・可能/義務)	• 水族館	• 自分の家庭のルールについて書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • テーマについて書く活動	
		2	L7 • 助動詞2 (推量)	• 日本の野生の生き物	• 助動詞を使い、好きな歌手や俳優がどんな人なのか想像して書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • テーマについて書く活動	
		2	L8 • 受動態1 (基本の形/by以外の前置詞)	• 日本の伝統文化	• 受動態を使い、日本の伝統的なものや習慣について紹介することができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • テーマについて書く活動	
	7	2	L9 • 受動態2 (助動詞+受動態/SVOO・SVOC)	• 交換留学生と学校生活	• 受動態を使い、自分の持っているものについて、説明する文を書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • テーマについて書く活動	
		1	• Review Exercises 2	• Lesson 6~9の復習問題	• 「話の流れ」にもとづいて、自分の部屋にあるものについて書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • テーマについて書く活動	
		3	• Project Work B • Grammar for Communication2	• 自分のことを話す • 助動詞のイメージ	• 自分や友達を紹介することができる。 • 助動詞を使って文を書くことができる。	○	○	○	○	• テーマについて書く活動 • 口頭で発表する活動	
	1学期期末考査										
	2 学期	9	2	Unit3 L10 • 不定詞1 (名詞的用法)	• 自然と科学	• 不定詞を使って、将来なりたい職業について書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • テーマについて書く活動
			2	L11 • 不定詞2 (副詞的用法/形容詞的用法)	• 小旅行	• 不定詞を使い、旅行してみたい場所とそこでやりたいことについて書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • テーマについて書く活動
2			L12 • 動名詞	• ポピュラー音楽	• 動名詞を使って余暇に楽しんでいることについて書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • テーマについて書く活動	
2			L13 • 分詞1 (限定用法)	• 動物園の動物たち	• 分詞を使い表現することができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 英語の内容を理解する活動	
10		2	L14 • 分詞2 (補語となる分詞/分詞構文)	• エネルギー問題	• 分詞を使ってエネルギー節約のためにやっけては池にことについて書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 口頭で発表する活動	
		2	L15 • 知覚動詞/使役動詞	• ファッション、ショッピング	• 知覚動詞を使って表現することができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 口頭で発表する活動	
		1	• Review Exercises 3	Lesson 10~15の復習問題	• 日本の年中行事について書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 英語の内容を理解する活動	
		3	• Project Work C • Grammar for Communication3	• 読んだり聞いたりしたことについてメモを取り、概要を伝える。 • 不定詞と動名詞のイメージ	• 聞いた内容を基に要点をまとめることができる。 • 不定詞と動名詞を使って表現することができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 口頭で発表する活動	
2学期中間考査											
11		2	Unit4 L16 • 比較1 (比較級/最上級)	• テレビ番組、ラジオ番組	• 最上級を使って書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 英語の内容を理解する活動	
		2	L17 • 比較2 (as...as~/最上を表す表現)	• 日本の名所	• 比較表現を使って、一番だと思うことについて書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 英語の内容を理解する活動	
		2	L18 • 関係代名詞1 (主格/目的格と省略)	• 友人と学校生活	• 関係代名詞を使って「何かしている友人」を紹介する文を書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 英語の内容を理解する活動	
		2	L19 • 関係代名詞2 (whose・what/that)	• 読書	• 関係代名詞を使って好きな作家についての書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 英語の内容を理解する活動	
		2	L20 • 関係副詞	• 地球、宇宙	• 関係副詞を使って、自分がよく知っている場所について書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 英語の内容を理解する活動	
		1	• Review Exercises 4	• Lesson 16~20の復習問題	• 日本と外国の習慣の違いについて書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 英語の内容を理解する活動	
		12	3	• Project Work D • Grammar for Communication4	• 2つの意見の共通点や相違点を探して表現する。 • 後置修飾のイメージ	• 聞いた内容を基に要点をまとめることができる。 • 後置修飾を使って表現することができる。	○	○	○	○	• テーマについて書く活動 • 口頭で発表する活動
	2		Unit5 L21 • 仮定法過去/仮定法過去完了	• 食べ物、食事、料理	• 仮定法を使って、過去か未来に時間旅行できるとしたら何をするか書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 英語の内容を理解する活動	
2学期期末考査											
3 学期	1	2	L22 • その他の家庭表現	• 私のロールモデル (あこがれの人)	• 仮定法を使って、自分のロールモデルについて書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 英語の内容を理解する活動	
		2	L23 • 部分否定/準否定語	• クラシック音楽	• 部分否定を使って表現することができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 英語の内容を理解する活動	
	2	2	L24 • 間接話法と時制の一致	• 将来の職業	• 間接話法を使って表現することができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 英語の内容を理解する活動	
		2	L25 • 接続詞	• 学んでみたい外国語	• so that を使って、習ってみたい外国語とその理由について書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• 授業での取り組み • 英語の内容を理解する活動	
	3	1	• Review Exercises 5	Lesson 21~25の復習問題	• 「何かを上手にする方法」について書いたり話したりすることができる。	○	○	○	○	• テーマについて書く活動 • 口頭で発表する活動	

	2	<ul style="list-style-type: none"> Project Work E Grammar for Communication5 	<ul style="list-style-type: none"> スピーチをする 助動詞の過去形のイメージ 	<ul style="list-style-type: none"> 「ペットは猫が最適」という立場でスピーチを書き積極的に発表することができる。 助動詞の過去形を使って表現することができる。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> テーマについて書く活動 口頭で発表する活動
3学期期末テスト									